「４Ｈクラブ会長等と東北農政局との意見交換会」を開催しました！！

東北農政局では、平成３０年６月１８日に、仙台合同庁舎Ａ棟（仙台市）において「４Ｈクラブ会長等と東北農政局との意見交換会」を開催しました。意見交換会には、東北管内各県４Ｈクラブから１７名の方に出席をいただきました。

本意見交換会は、農業現場で活躍している４Ｈクラブ員との意見交換を行い現場のニーズを把握するとともに、農業現場での若手農業者の定着の方策を検討するため、平成２６年に開催して以来、４年ぶりに開催しました。

農村地域の課題として、４Ｈクラブ会員からは、

○　高齢農家は農地の維持ができず、誰かに農地を託そうとしても買い手がいない。パート従業員も 80、90 代と高齢化していて頼ることが難しく、結果的に引退するしかない

○　農業者を指導する指導者も高齢化している

○　果樹園に新たに転換作物を導入しているが、廃園する面積に対して転換する面積が追いついていない

○　新規就農者は農地の確保に苦労している

等の意見がありました。

そのような課題がある一方で、

○　トマト栽培において、地域での手厚いサポート体制により、就農当初から目標単収を超える成果が得られた

○　若手農業者の離農を踏みとどめているのは４Ｈクラブの仲間たちだ

○　若手農業者のサポートは４Ｈクラブの役割である

○　他産地がまね出来るような、サポート体制の仕組みや事例を発信すれば、就農者の定着につながっていくと思う。

等の意見がありました。

また、情報発信に関する要望では、

○　若手農業者への情報発信をお願いしたい

○　他産地がまね出来るような、サポート体制の仕組みや事例を発信すれば、就農者の定着につながっていくと思う。

等の意見がありました。

なお、４Ｈクラブの活性化のための会員募集に関しては、県農大と交流を行いクラブ員に加入していただいたという意見もあれば、農大の学生にうまく農業の魅力を発信できず悩んでいるという意見もありました。

意見交換会終了後、情報交換会（懇親会）を開催し、意見交換会では聞くことが出来ない、貴重な意見も聞くことが出来ました。

東北農政局は、意見交換会、情報交換会で聞いた意見を参考にして、引き続き、４Ｈクラブ員との意見交換を定期的に開催したいと思います。

意見交換会であいさつをする木内東北農政局長

発言する参加者

意見交換会の様子